



「信なくば立たず」

理事長
五十嵐 秀 夫

組合員・賛助会員(以下、組合員等)及び関係企業の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年10月の国税庁の報告で平成21年事務年度における法人税の黒字申告割合は25.5%(前年度29.1%)と8割近い法人が赤字の異常事態となっております。

また、平成21年12月4日に施行された中小企業金融円滑化法は平成22年9月30日までに貸付条件の変更等の状況(金融庁の速報値)は申込件数111万件で、実行件数は98万件と、本来平成23年3月末までの法律の期限が1年間延長されるくらい税理士事務所の関与先である中小企業の経営環境は依然として厳しい状況となっております。

そのような中、新潟県税協の組合活動が順調に推移することができましたことは、役員をはじめ組合員等のご理解・ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

一昨年の6月に新執行部になって、早いもので1年6ヶ月経過し、残すところ半年の任期となりましたが組合員等の方々に「税協の組合員等に参加して良かった」と思っていただけのように執行部一同努力する所存ですのでご支援、ご協力をお願いします。

◎ 事業の推移

1 全税共

全税共第25回VIP・年金全国统一キャンペーン(22年9月～11月)の優績者の入賞者数は

151人(前年156人)と若干の減少となりましたが、収納保険料は平成22年4月から10月までの期間で前年対比104%の増加となっており、特に営業職員部門が同期前年対比で107%と著しく伸展しました。

提携生命保険会社の支社長・幹部職員及び営業職員の方々のご協力に感謝申し上げます。

また、税理士VIP代理店挙績キャンペーン(Z2キャンペーン、22年7月～12月)は、22年10月末現在の入賞者数は「6人」で、特に今回新たに制定した月額保険料100万円以上の新規契約「ときめき賞」が既に1人該当しており、前年平成21年キャンペーンの「7人」以上の入賞者数が期待されます。

2 総合事業保障プラン(大同生命)

第1次(22年4月～7月)及び第2次(22年9月～11月)キャンペーンを実施した結果、営業職員及び税理士代理店部門いずれも好調で、関信越6県の税協内でも上位の推進実績となっております。平成22年4月から11月までの事務手数料収入は前年対比109%と前年同期間(114%)と同様2年連続の大幅な増収となっております。

3 あんしん財団

主務官庁の行政処分で平成22年4月1日から7月17日まで一部業務停止命令を受けたことにより、組合員等の皆様に多大なご迷惑をおかけいたしましてお詫び申し上げます。7月18日の業務再開以降の加入状況は12月6日現在で年間目標400人に対して138人と低調に推移しており

ます。

4 教育・情報部門

平成22年度の「確定申告の手引き」の配付を前年同様に3出版社の選択制としました。また、組合員等事務所の図書経費負担の補填として平成21年度は3千円の図書カード配付しましたが、郵送経費の負担が大きいこと等により、平成22年度は5千円を限度に「希望書籍の無料配付」に変更しました。

研修は県連と研修テーマが重ならないように連携を図っており、平成22年4月の岩下先生、10月の加藤先生の研修会を実施し、いずれも300人を超す多くの組合員等及び職員の方の参加がありました。

5 福利厚生部門

小規模企業共済・倒産防止共済は引続き堅調で、特に小規模企業共済は平成23年1月から個

人事業主の「共同経営者」2人まで加入可能となりますので今後の伸展が期待できます。

また、組合員等の要望により麻雀大会を3年振りに開催し、組合員等と関連企業の支社長及び職員の方々との交流を図りました。

◎ 結びに

冒頭の言葉は、「政治で一番大事なのは？」、と弟子に問われた孔子は「民、信なくば立たず」と答え、政治や政治家への国民の信頼なくして国家は立ちゆかないとのことです。県税協も同様に組合員及び賛助会員の皆様方の「信なくば立たず」ということで、信頼していただき、かつご協力いただけるような施策を実施していきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

平成23年が組合員及び賛助会員の皆様にとって最良の年となることを祈念して、新年の挨拶といたします。